

# ちとせ 市議会だより

No.168



樽前山山頂から支笏湖を望む（高台 匿名希望）  
汗をかいた甲斐がありました。羊蹄山が見えました。（撮影者のコメント）

## 平成 27 年 第 2 回（6 月） 定例会

### 目次

- 定例会のあらまし、議決結果等 ..... 2～4 ページ
- 各委員会構成、会派構成 ..... 5 ページ
- 市長市政執行方針、教育行政執行方針 ... 6～7 ページ
- 各委員会の開催状況 ..... 8 ページ
- 代表・一般質問、政務活動費収支報告 ... 9～12 ページ
- 補正予算特別委員会質疑 ..... 13～15 ページ
- 議会事務局からのお知らせ等 ..... 16 ページ

# 定

## 例会のあらまし

- 平成27年度補正予算（政策予算）を可決
- 議長に香月正議員、

副議長に今井俊雄議員を選出

平成27年の第2回定例会は、6月1日から6月24日までの24日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成27年度一般会計補正予算（第1回・政策予算）、条例の制定など、報告9件、議案8件が提出されました。

このうち、補正予算にかかわる議案1件については、議長を除く24人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置、審査を付託しました。また、追加議案を除くほかの議案は、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その結果、継続審査となった2件を除き、補正予算をはじめ各議案については、原案のとおり可決・同意しました。

今定例会の主な議案の内容は、次のとおりです。

### 補正予算（第1回）

平成27年度の一般会計予算の総額を375億7千676万3千円とする。

### 補正予算（政策予算）の

主な施策（第6期総合計画に掲げたまちづくりの基本目標順）

### 1 あったかみのある地域福祉のまち

- ・ 社会福祉協議会2階冷房装置整備事業費 998万4千円
- ・ 施設整備費補助事業費 49万5千円
- ・ 転入親子ウエルカム事業費 5万1千円

### 2 子ども・子育てプランディング事業費

- ・ 子ども・子育てプランディング事業費 84万2千円
- ・ 北陽小学校区学童クラブ新築整備事業費 50万円
- ・ 生活困窮世帯冬季生活支援事業費 507万9千円

### 2 人と地球にやさしい環境のまち

- ・ 第3埋立処分地<sup>かさ</sup>高上げ事業費 539万円

### 平成27年度各会計予算

（単位：千円）

会計名	平成26年度当初予算との比較				
	平成27年度			平成26年度当初予算	増減率(%)
	当初予算	補正	合計		
一般会計	36,942,760	634,003	37,576,763	36,409,878	3.2
特別会計	15,749,840	0	15,749,840	14,799,416	6.4
国民健康保険	9,926,432	0	9,926,432	9,113,775	8.9
土地取得事業	24,828	0	24,828	34,950	△29.0
公設地方卸売市場事業	40,021	0	40,021	37,189	7.6
霊園事業	98,156	0	98,156	77,118	27.3
介護保険	4,708,271	0	4,708,271	4,609,704	2.1
後期高齢者医療	952,132	0	952,132	926,680	2.7
公営企業会計	14,873,343	0	14,873,343	16,341,305	△9.0
水道事業会計	3,220,066	0	3,220,066	3,025,417	6.4
下水道事業会計	4,908,483	0	4,908,483	5,253,580	△6.6
病院事業会計	6,744,794	0	6,744,794	8,062,308	△16.3
合計	67,565,943	634,003	68,199,946	67,550,599	1.0

・子育て総合支援センター  
LED照明設備整備事業費  
1千34万7千円

6 都市機能が充実したまち

・環境保全測定機器整備事業費  
341万4千円

・千歳駅周辺交通バリアフリー地区整備事業費  
4千840万円

・葬斎場改修事業費  
864万円

・グリーンベルト活性化事業費  
5千100万円

3 安全で安心して暮らせるまち

・防災行政無線デジタル化整備事業費  
99万4千円

・市民球場改修事業費  
695万円

・防災備蓄倉庫整備事業費  
972万5千円

・総合武道館改修事業費  
3千605万円

・スクールゾーン標識看板設置事業費  
259万2千円

・農民研修センター改修事業費  
4千607万2千円

・空気呼吸器用面体更新事業費  
17万4千円

・多面的機能支払事業費  
980万4千円

・C経路舗装補修事業費  
3千256万4千円

・中心市街地機能維持事業費  
1千856万1千円

・防雪柵整備事業費  
400万円

・支笏湖ふるさと活性化事業費  
350万円

4 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

・若者・女性等就職サポート事業費  
50万5千円

条例

人事

◆議長、副議長の選出

6月3日の本会議において、議長および副議長の選挙が行われ、議長に香月正議員、副議長に今井俊雄議員が指名推選によって選出されました。



議長  
香月 正



副議長  
今井 俊雄

◆次の件に同意

◎監査委員に  
坂野 智議員(再任)

◎公平委員会委員に

道下 資司さん(再任)

その他

◆市道路線の認定

開発行為により09-32東204号道路を認定。

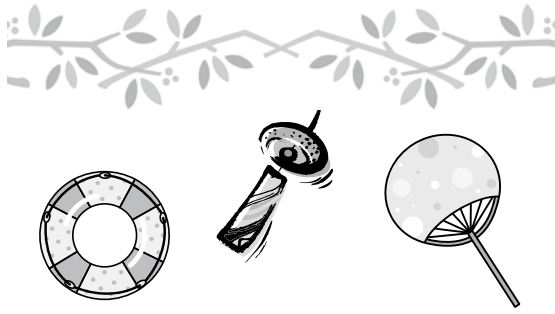


## 意見書

第2回定例会において、意見案2件が議員提案され、いずれも全会一致で可決されました。意見書は、内閣総理大臣ほか関係大臣などに送付し、実現されるよう要望しました。

◆地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

◆最低賃金の大幅な引き上げを求める意見書



## 第2回臨時会

4月27日に招集された第2回臨時会は、1日間の会期で開催されました。

この臨時会では、「副市長の選任につき同意を求めることについて」を含む議案4件が提出され、原案のとおり可決または同意し、このほか2件の専決処分について報告がありました。

### ◆次の件に同意

◎副市長に  
横田 隆一さん（新任）

### ◆市議補選で市議に当選

4月26日執行の千歳市議会議員補欠選挙で、次の3名が市議会議員に当選しました。

◎大山 益巳 議員

◎末村 友幸 議員

◎北山 敬太 議員

（ちとせの未来を創る会）

## 第2回定例会議決結果概要

事件番号	件名	委員会	議決結果
議案第1号	平成27年度千歳市一般会計補正予算について（第1回）	補正予算特別	原案可決
議案第2号	千歳市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	継続審査
議案第3号	千歳市情報公開・個人情報保護運営審議会及び千歳市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	継続審査
議案第4号	千歳市立公民館条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第5号	千歳市建築確認申請等手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第6号	市道路線の認定について	産業建設	原案可決
議案第7号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	—	同意
議案第8号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	同意
意見案第1号	地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書	—	原案可決
意見案第2号	最低賃金の大幅な引き上げを求める意見書	—	原案可決

# 各常任委員会 議会運営委員会 構成

本定例会において、新たに各常任委員会、議会運営委員会の構成が決まりましたので、お知らせいたします。

## 総務文教 常任委員会 委員数8人 (定数9人)

委員長 佐々木 雅宏  
副委員長 神田 聖子  
委員 古川 昌俊  
委員 米内山 淳二  
委員 高秀 政博  
委員 松倉 美加  
委員 松隈 早織  
委員 細見 正美

※議長は、申し合わせにより、総務文教常任委員会委員を辞退しています。

## 厚生環境 常任委員会 委員数8人 (定数8人)

委員長 渡辺 和雄  
副委員長 五十嵐 桂一  
委員 岡部 いづみ  
委員 島原 長久  
委員 末村 友幸  
委員 落野 章一  
委員 田口 博  
委員 今井 俊雄

## 産業建設 常任委員会 委員数8人 (定数8人)

委員長 宮原 伸哉  
副委員長 山口 康弘  
委員 坂野 智  
委員 山崎 昌則  
委員 大山 益巳  
委員 田中 哲  
委員 北山 敬太  
委員 佐藤 仁

## 議会運営 委員会 委員数10人 (定数10人)

委員長 山崎 昌則  
副委員長 渡辺 和雄  
委員 米内山 淳二  
委員 佐々木 雅宏  
委員 五十嵐 桂一  
委員 松倉 美加  
委員 山口 康弘  
委員 松隈 早織  
委員 田口 博  
委員 佐藤 仁

# 会派構成

## 自民党議員会(13名)

会長 古川 昌俊  
副会長 高秀 政博  
幹事長 佐々木 雅宏  
政調幹事 五十嵐 桂一  
総務幹事 松倉 美加  
坂野 智  
米内山 淳二  
山崎 昌則  
岡部 いづみ  
島原 長久  
山口 康弘  
末村 友幸  
大山 益巳

## ちとせの未来を創る会(5名)

代表 渡辺 和雄  
幹事長 松隈 早織  
田中 哲  
落野 章一  
北山 敬太

## 公明党議員団(3名)

代表 田口 博  
幹事長 神田 聖子  
副幹事長 宮原 伸哉

## 日本共産党(諸派)

佐藤 仁

無所属

細見 正美



# 市長市政執行方針

定例会初日、山口市長は市政執行方針において、市政運営の基本姿勢について述べました。その一部を紹介します。

## 市政運営の基本姿勢

### ① 市民協働により、住み良い、発展がづく都市づくり

市民協働とは、言い換えれば郷土愛の発露であり、このまちに住んで良かったと真に実感できるのは、市民や隣人とともに参加・連帯する機会などによってもたらされる郷土愛を強く感じるときと考えています。

少子高齢化や人口減少など、社会経済情勢の変化に対応しながら、行政が主体となつて市民サービスや福祉の充実などを図ることは無論ですが、あわせて、市民と行政が共に市民協働による郷土愛を醸成しながらまちづくりを進めることが重要となります。

このことから、まちづくりの目標を「市民協働により、住み良い、発展がづく都市づくり」と掲げ、今後も市民一人ひとりが真に

夢を持ち、その夢が実現できる都市づくりを推進していきます。

### ② みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ

まちづくりの目標と取り組み方向を示す「千歳市第6期総合計画」は、平成23年度にスタートしましたが、中間年を迎える本年度内に内容を見直します。

平成32年度の将来人口を9万5千人から9万7千人に引き上げることで、まちの勢いや潜在力を市の内外に印象付け、さらなる発展の好循環につながることを期待しています。

まちの活力と発展が持続し、市民の皆さんが住み良さを実感できるよう「第6期総合計画」の着実な推進を図り、将来都市像「みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ」の実現にまい進していきます。

## 当面する課題への対応

### ① 地域経済の活性化

就労支援の推進、雇用の場の創出、地域の活性化や交流人口の拡大を図り、まちの成長・発展につながる取り組みの推進。

### ② 定住促進

定住人口の増加と交流人口の拡大につながる効果的な施策の推進。

### ③ 新千歳空港24時間運用枠拡大の対応

「発着回数増加による騒音の加重に伴った必要な対策が講じられること」を前提として、地域の方々の意見を丁寧にお聞きし、基本合意に向けた課題解決に取り組む。

### ④ 自衛隊体制強化

「千歳市における自衛隊の体制強化を求める期成会」や「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」と連携を図り、自衛隊と共存共栄するまちづくりを進める。

### ⑤ 持続可能な行財政運営

強固で持続可能な財政基盤の確立。公共施設等の更

新・統廃合・長寿命化等などの計画的な実施。財政負担の軽減・平準化を図り、効果的で効率的な行財政運営に取り組む。

## 重点施策と主な施策

### 重点施策

「3つの活力と3つの安心」を柱として、「経済・雇用」、「市民協働・地域活動」、「医療・福祉」、「子育て・教育」、「環境・防災」の5項目を重点施策として取り組む。

### 主な施策

① あったかみのある地域福祉のまち

・ 経済的な困窮などの課題を抱えた市民の早期把握と相談支援

・ 「あつたか灯油事業」の実施

・ 不妊治療費の助成制度の開始

・ 平成29年度の休日夜間急病センターの開設

・ 千歳市きずなポイント事業の創設

・ 転入親子ウエルカム交流ツアの実施

・ 全ての所得階層の保育料の負担軽減

・ 地域子育て支援センター

を10か所に拡大

- ・ 北陽小学校区に学童クラブを新設
- ・ 婚活パーティーや結婚を考えるセミナーの開催

② 人と地球にやさしい環境のまち

・ 従来の3霊園に加え、合葬式墓地によるお墓への二一ズに対応

・ 管路長寿命化計画の策定に着手

③ 安全で安心して暮らせるまち

・ 市営住宅みどり団地3号棟の建設

・ 訓練移転が継続される場合、再編交付金の交付期間延長の取り組み

④ 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

・ 総合教育会議と教育委員会との連携による教育施策の推進

・ 学習支援員の増員による習熟度別少人数指導の充実

・ 全小学校へのデジタル教科書の導入によるICT教育の充実

・ 特別支援教育支援員の増員

- ・ 新たな学校給食センター建設の検討

- ⑤ 活力ある産業拠点のまち
  - ・国の交付金を活用したプレミアム付き商品券の発行
  - ・道の駅サーモンパーク千歳で市内の観光やイベント情報などの発信
  - ・合宿や大会などの誘致活動による交流人口の拡大

- ⑥ 都市機能が充実したまち
  - ・交通戦略プランの策定による交通ネットワークの充実

## 行政経営の基本目標

市民協働による  
自主自立の行政経営

### 主な事業

- ・新たに協働化テストの要素を取り入れた市提案型協働事業など、10事業の協働事業の実施。

- ・市役所本庁舎の建物の強度不足や相談窓口などの狭あい化、災害時の防災拠点機能の充実などの課題を解決し、市民サービスの充実を図るため、第2庁舎の建設および本庁舎の耐震化に向けた取り組みの実施。

- ・市制施行60周年となる平成30年度を目的に「通史編（下巻）」を刊行する準備を進める。

# 教育行政執行方針

定例会初日、宮崎教育長は、平成27年度の教育行政執行方針について述べました。  
その一部を紹介いたします。

## 教育行政の基本姿勢

- ① 未来へ飛翔・すべては子どもたちのために

千歳の未来を担う子どもたちが夢や希望を持ち、健やかに成長していくことが、私たちの最大の願いであり、その成長がまちづくりの原動力となります。

このことから、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの自己有用感を育くむとともに、安全で安心な教育環境の充実と、「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」を育むための教育を推進し、知的な探究心を養い、積極的に行動する子どもたちの力を育てます。

- ② 学びの意欲と豊かな心を育む文化のまち

少子高齢化や人口減少などによる社会の変化と個々のライフスタイルの多様化

の中で、市民が生きがいと潤いを持つて生き生きとした生活を送るため、千歳市の豊かな自然環境や生活環境、地域の教育資源などを生かした仕組みづくりが求められています。

このことから、一人ひとりの能力を生涯にわたる発揮できる活力ある生涯学習社会の実現に向け、生涯にわたる学習ニーズに応じた社会教育の充実、文化の振興、貴重な文化財の保護と活用、次代を担う青少年の健全な育成を図る環境づくりに取り組んでいきます。

## 教育重点施策

### ▼ 確かな学力の向上

千歳市学力向上検討委員会では、全国学力・学習状況調査の結果を分析し検証するとともに、「自己有用感を高める取り組み」と「学習内容の理解と定着を図る取り組み」の一層の充実を図る

必要があるとしており、各学校は、これを受け、個に応じたきめ細かな学習指導と学習習慣の確立など、学力向上の取り組みを進める。

### ▼ 教育環境の整備

安全・安心な教育環境を確保するため、学校施設の適切な維持管理を行うとともに、屋内運動場の非構造部材の耐震化、学校施設の大規模改修などを計画的に進める。

### ▼ 外国語教育の充実

全ての小中学校で外国人英語指導助手の参加による、外国語活動及び英語の授業を実施するとともに、国際感覚やコミュニケーション能力を身につけるための国際理解・国際交流事業など、外国語教育の充実を努める。

### ▼ いじめ・不登校対策

「千歳市いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめは人間として絶対に許されない」という確固たる認識と毅然とした態度で取り組むとともに、「いじめはどの子どもにも、どの学校でも起こりうるもの」という共通認識の下、学校・家庭・地域・関係機関と連携し、いじめ根絶

に向けた取り組みを進める。  
また、不登校問題については、不登校児童生徒の一人ひとりの実態をきめ細かく把握し、学校内での情報共有と共通理解を図るなど組織的に進めるとともに、家庭や関係機関と連携して、学校復帰に向けた取り組みの充実を努める。

## 主な施策

- ・子どもたちの学校生活における意欲や満足度の調査を行う「ハイパーQ U検査」の実施回数拡大
- ・スクールカウンセラーの配置拡大、スクールソーシャルワーカーの新たな配置
- ・新たにPTA会費、児童生徒会費、クラブ活動費を援助の対象とする就学支援の充実
- ・全小学校におけるフッ化物洗口の実施
- ・市立図書館のAV室音響機器更新など施設機能の充実
- ・国指定史跡「キウス周堤墓群」の史跡周辺地区の測量調査および試掘調査の実施
- ・小学校高学年を対象としたイングリッシュキャンプの実施

## 各委員会の開催状況

4月から6月までに開かれた各委員会の開催状況をお知らせします。

定など第2回定例会提出予定議案4件、および平成26年度（公財）千歳青少年教育財団の経営状況を説明する書類など第2回定例会報告予定案件3件を含む8件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月2日（火）13時

第2回定例会提出議案3件のうち、千歳市立公民館条例の一部を改正する条例の制定を原案可決とし、千歳市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定を含む2件を継続審査とした。また、第4期重点施策の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月3日（水）

本会議終了後  
正副委員長を互選した。

市一般会計補正予算（第1回）など第2回定例会提出予定議案2件を含む10件の所管事務調査を報告済みとした。

また、「道央廃棄物処理組合における焼却施設建設候補地選定」を継続調査とした。

▼6月3日（水）

本会議終了後  
正副委員長を互選した。

▼6月25日（木）13時

千歳市北新子育て支援センター「げんきっこセンター」の運営状況を含む5件の所管事務調査を報告済みとした。

また、「道央廃棄物処理組合における焼却施設建設候補地選定の経過」を継続調査とした。

案の工事請負契約の締結、および第2回臨時議会報告予定案件の専決処分報告の所管事務調査を報告済みとした。

▼5月28日（木）13時

千歳市建築確認申請等手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定など第2回定例会提出予定議案6件と、第2回定例会報告予定案件の予算繰越計算書の報告を含む14件の所管事務調査を報告済みとした。

▼6月2日（火）13時

千歳市建築確認申請等手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定など第2回定例会提出議案2件を原案可決とした。

▼6月3日（水）

本会議終了後  
正副委員長を互選した。

▼5月8日（金）13時  
議会改革について協議した。

▼5月29日（金）13時

第2回定例会の議事運営について決定し、意見書の提出などについて協議した。

▼6月3日（水）11時

6月3日（第2回定例会2日目）の議事運営を決定し、意見書の提出について協議した。

▼6月3日（水）

本会議終了後  
正副委員長を互選した。

▼6月12日（金）

本会議終了後  
意見書の提出について協議した。

▼6月23日（火）

補正予算特別委員会終了後  
6月24日（第2回定例会最終日）の議事運営を決定し、議会改革について協議した。



総務文教  
常任委員会

▼4月22日（水）13時

第2回臨時議会報告予定案件の千歳市税条例等の一部を改正する条例の制定を含む6件の所管事務調査を報告済みとした。

▼5月26日（火）13時

千歳市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制



厚生環境  
常任委員会

▼5月28日（木）13時

第2回定例会報告予定案件の平成26年度（公財）ちとせ環境と緑の財団の経営状況、および平成27年度千歳



産業建設  
常任委員会

▼4月22日（水）13時

第2回臨時議会提出予定議



議会運営  
委員会

▼4月27日（月）11時30分

第2回臨時議会の議事運営について決定した。





# 市政に

## ついでにの質問

今定例会では、6月8日、11日、12日の3日間、各会派等の代表質問と一般質問が行われました。

これらの質問の中から、主なものを掲載します。

なお、質問議員の会派および氏名は、次のとおりです。

### 代表質問議員

- ☆自民党議員会  
古川 昌俊 議員
- ☆ちとせの未来を創る会  
渡辺 和雄 議員
- ☆公明党議員団  
田口 博 議員

### 一般質問議員

- ☆日本共産党  
佐藤 仁 議員



自民党議員会  
古川 昌俊 議員

### 行政運営

**問** 市長は、就任以来、財政健全化対策に取り組み、想定されていた収支不足を解消した。

新たに策定した「千歳市財政標準化計画」に基づき、収支バランスの維持とストック改革を中心に、健全な財政運営と安定的な財政基盤の確立に取り組んできたが、今後、第2庁舎建設、消防庁舎改修、新給食センター整備等の大型事業の実施にあたり、財源確保の考

え方と財政標準化計画との整合性について伺う。

また、再編交付金の延長、公共事業の実施に際して地元企業への発注、公共事業の調達方法について伺う。

**答** 市長 市役所本庁舎や消防総合庁舎の耐震化、第2庁舎建設、新給食センター整備などの大型事業を予定している。これらの事業実施においても財政標準化計画で定めた目標額を順守することを財政運営の基本にするが、それぞれ多額の費用が見込まれ、第2庁舎建設事業は補助金活用などに加え、財政標準化計画で公共施設整備基金の一部を活用することとしている。

再編交付金は、引き続き国に期間延長を強く要望していく。地元企業への発注

状況は、昨年度の市の工事件数の約97%が地元企業への発注である。今後も入札の透明性や公平性、適正な競争を確保したうえで、地元企業の受注機会の確保に努める。また、リース方式を採用する場合も、技術・能力的に可能なものは地元企業の活用を基本的考えとして取り組む。

### 新千歳空港の機能強化

**問** 国が平成26年に策定した「日本再興戦略2014」で、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等を見据えた観光振興および訪日外国人旅行者の拡大に向けた取組が位置付けられている。

北海道知事は「2020

年をめどに来道外国人観光客を300万人」とする目標を掲げ、空港機能の強化を進めるとのことである。

新千歳空港の発着枠の拡大、国際線・国内線の狭小化についての所見を伺う。

また、新千歳空港の24時間運用枠拡大協議における地域協議会との基本合意に向けての考えを伺う。

**答** 市長 新千歳空港は、運航過密化や発着枠の制限などから、航空会社が希望する昼間の乗り入れが来ず、時間帯の変更や国際線チャーター便が就航を断念する事案が発生している。

国は、益や年末年始など臨時便等の発着枠を試行的に拡大し、運航状況の評価結果を踏まえ、発着枠拡大の検討を行うとのことであ

る。新千歳空港は北海道経済の振興と発展に欠かせない拠点空港であり、国防の観点を含む航空機の安全運航を前提に発着枠拡大の早期実現を期待する。空港施設の拡充は、当市の経済や雇用にも大きな影響があり、早期実現できるような国に要望活動を実施する。

24時間運用枠拡大は、市や北海道の発展に極めて重要であるが、その実現は、地域に負担をかけるものであり、必要な対策が講じられることを前提として、地域の意見を丁寧に聴くことが重要と考える。私としても、基本合意に向けた課題解決に積極的に取り組む。

### その他の質問

・農業施策 など



ちとせの未来を創る会  
渡辺 和雄 議員

### 商店街の振興

**問** 市内には、中心市街地の他にも近隣商業地域など、都市計画で、店舗を構えることが可能な地区が存在する。今後、少子高齢化社会が進行する一方で、高齢者が「徒歩」で買い回りができる商業店舗の維持・拡充が、向陽台地区など郊外でも望まれてくるものと考えられる。市民の皆さんからの要望などを考慮して、今後、これら中心市街地以外の地区

にも、市として何らかの支援・補助を拡充していく可能性はあるのか、所見を伺う。

**答** 市長 本市はこれまで人口の増加が続き、計画的な市街化区域の拡大に伴い、郊外には新たな住宅地が造成され、商業店舗の出店・開業も行われてきた。

現在、市では「第2期都市計画マスタープラン」により、JR千歳駅を中心とする半径1キロメートルの範囲を中心市街地地区と定め、商業、行政、文化施設などが集積する利便性を生かし、「まちの顔」としてふさわしい機能と空間を備えた地域づくりを目指している。このことから、中心市街地の商業機能の充実に向

け、商店街振興組合等により行われるイベント等の共同事業や来街者歓迎事業を支援するとともに、空き店舗解消のための支援も行ってきた。

今後、中心市街地以外において商店街振興組合が組織され、商業振興を図る事業が実施される場合は、その支援も必要となると考えることから、商業振興プランの目標や施策等を協議する「千歳市商業振興懇話会」で議論したいと考える。

### 給食センターの新築移転

**問** 現在、千歳市は1つのセンターで約9,000食の給食を作っており、他市

でもあまり例のないことと思う。温かい食べ物がかかるまで食べられるというのは、おいしい給食の条件のひとつである。

また、保護者の方々にとっては、建設場所、器ひとつにも思いがある。

千歳市は「市民協働のまちづくり」を進めており、新しい給食センターを「市民の皆さんと共に造り上げていく」という協働の精神で、市民会議を設置し、保護者や教職員の意見を、最大限に生かすなどの方策について、考えを伺う。

**答** 教育長 新給食センターの建設は、現在の学校給食センターが抱える課題を解決し、子どもたちに安全、安心でおいしい給食を提供

するための重要な事業であり、その機能や設備などについて十分な検討が必要である。このことから、平成27年度において、先進地視察や整備手法の調査を行うとともに、保護者や教職員などの学校関係者から幅広く意見を聞くため、教育委員会職員や栄養教諭、校長会、教頭会、PTA連合会の代表などで構成する検討委員会の設置を検討している。

また、基本構想案については、パブリックコメントを実施する予定である。

### その他の質問

- ・市民協働推進
- ・子育て施策 など



公明党議員団  
宮原 伸哉 議員

### 定住促進

**問** 市は、結婚に繋がる出会いの場を提供するという観点から、初めて婚活事業

のイベントを行ったが、婚活事業の今後の事業展開について伺う。

また、若年層の間では、地元志向や地元回帰への関心が高まっているが、このことに対する市の捉え方について伺う。

さらに、雇用や居住場所の確保など、若者が地域で生活するための支援策も必要であると思うが見解を伺う。

**答** 市長 婚活事業は、千歳市移住・定住促進プロジェクトの具体的な取り組みとして今年度から実施している。今年度中にバスツアーをセットにしたパーティーを2回予定しており、参加者のコミュニケーションが図られるよう内容をよく検討する。

若年層で関心が高まっている地元志向や地元回帰に

ついては、東京で開催した「本気の移住相談会」において、来場者の半数近くが30歳代から40歳代の子育て世代であったことから、関心が高いと感じている。

また、若者の地元志向や地元回帰に対する支援策について、本年度策定予定の「地方版総合戦略」で、大学生や高校生を対象として市内への進学・就職の意向や

市内居住に関する意識調査、道外から北海道への移住希望者を対象として当市の移住に関する優位点などを探るインターネット調査などを実施する。この意識調査の結果を参考にしながら、市民や関係機関で組織する「総合戦略策定市民会議」で支援策について検討する。

ごみ処理広域化

**問** 市は、平成9年に北海道が策定した「ごみ処理の広域化計画」で設定された道央ブロックには入らず、当初は単独であったが、その後、千歳市を含む2市3町において道央廃棄物処理組合を設立し、広域化となる焼却施設稼働を目指し、

現在に至る。

そこで、平成36年度予定の供用開始に向けて、今後のスケジュールと、市民生活に関係するごみ袋の単価設定についての見解を伺う。

**答** 市長 道央廃棄物処理組合が本年3月に策定した「ごみ処理広域化基本計画」において、平成27年度は「建設候補地の3次選定」を行い、28年度は建設候補地の

決定、29年度は測量および生活環境影響調査、基本設計、30年度は用地取得、都市計画決定及び実施設計、31年度から35年度までは建設工事の実施、36年度から焼却施設の稼働といった事業スケジュールが示されている。

また、ごみの広域処理によるスケールメリットにより、ごみ処理コストは市の

単独処理よりも、低く抑えられるものと見込んでいる。

現在、ごみ処理手数料は、燃やせるごみ・燃やせないごみ1リットル当たりの単価を2円としているが、手数料の改定は、将来のごみ量や経済情勢などにより、ごみ処理経費は変動すると考えられることから、適切な時期に検証を行い、また、近隣自治体の状況なども参

考にしながら判断する。



その他の質問

- ・ 商業振興策
- ・ 生活困窮者支援
- ・ 住宅防音工事 など



日本共産党  
佐藤 仁 議員

集団的自衛権行使

**問** 安保法制関連法案の強行成立について、国民の多数が「国会での成立」に反対し、8割が政府の説明が「不十分」という中で、「夏までに成立」などと法案を強行成立させようとしている。

国民の8割が説明不十分、多くの国民が国会での強行成立に反対の世論があるが、市長として、国に対して「強行成立はするな」と

いう要望の検討を求めるが、検討できるかどうかについて示してほしい。

**答** 市長 集団的自衛権は、「二層厳しさを増すわが国周辺の安全保障に的確に対応するため、安全保障基盤を再構築する必要がある」との認識から、国において検討され、これを受け、政府は「集団的自衛権行使について、3つの新しい要件を満たす場合に限り、憲法第9条の下において認められる自衛の措置としての集団的自衛権行使を容認する」としたものである。」とされている。

集団的自衛権行使のため、安保法制関連法案について、現在、国会において活発な議論が行われており、

私としては、引き続き活発な議論が行われるとともに、国民に対し丁寧な説明がなされることを期待しながら、議論の行方を注意深く見守りたいと考えており、要望を行うことは考えていない。



戦後70年戦争に巻き込まれていない要因

**問** 私は、戦後70年間にあって、日本が戦争に巻き込まれることなく、また、自

衛隊員の戦争による犠牲者を一人も出していないことの歴史の重さをつくづく感じる。

これは、戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認を明示している憲法第9条があるからだと思う。

市長は、戦後70年間戦争に巻き込まれることなく今日に至っているのは、どのようなことがあるからだと考えているのか伺う。

**答** 市長 わが国が戦後70年間、平和な状態を維持できたことは、国際情勢等多くの要因が複合したものと考えるが、国民が平和を願ったこと、それを現するため奔走した政治家がいたこと、昼夜を分かたず任務にまい進した自衛官、



その他の質問

- ・ 定住促進

# 平成 26 年度 政務活動費収支報告

## ●政務活動費とは？

地方自治法第 100 条第 14 項から第 16 項までの規定により定めた「千歳市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、会派または議員に対して交付されます。

## ●交付方法

- ①交付対象 会派（諸派および無所属を含む。）
- ②交付金額 年間 3 万円（1 人）× 所属議員数
- ③使途基準
  - ・ 研究研修費（研修会等負担金、講師謝礼等）
  - ・ 資料作成費（印刷製本費、事務機器購入費等）
  - ・ 資料購入費（書籍、資料等の購入費）
- ④収支報告書・領収書の公開  
収支報告書・領収書の内容は、市議会ホームページで公開しています。
- ⑤その他  
交付された政務活動費に残額がある場合は、その額を返還することになります。

	収入 (円)	支出 (円)				返還金 (円)
		研究研修費	資料作成費	資料購入費	支出合計	
自民党 議員会	360,000	100,500	161,607	34,180	296,287	63,713
市民の会	120,000	80,250	11,119	44,790	136,159	0
公明党 議員団	90,000	0	45,584	44,061	89,645	355
細見正美(無所属)	30,000	0	0	31,870	31,870	0
落野章一(無所属)	30,000	0	62,640	0	62,640	0
渡辺和雄(無所属)	30,000	0	3,304	9,720	13,024	16,976

※議長、副議長及び日本共産党は、交付申請がなかったことから政務活動費を交付していません。

議会のぞろい  
みませんか！



議会を傍聴  
することは、千  
歳市で何が行  
われ、何が決  
められているの  
かを知ることが出来る一つの  
方法です。

また、議員の活動状況や、  
市民の皆さんの意思を市政に  
どのように反映させているか  
を知ることが出来ます。

簡単な手続きで傍聴できま  
すので、ぜひ一度、議会に足  
を運んでみませんか。

### 本会議の傍聴方法

- ・ 本会議は、原則、午後 1 時  
から開会いたします。
- ・ 入口で住所や氏名などをご記  
入の上、入場してください。
- ・ 携帯電話は電源を切るか、  
マナーモードにしてください。  
議場内での通話等は遠慮願  
います。
- ・ 開会中は、会議の妨げとなら  
ないよう静かに傍聴願います。

## 補正予算特別委員会質疑

質疑委員

(質疑順)

☆日本共産党

佐藤 仁 委員

☆無所属

細見 正美 委員

☆自民党議員会

島原 長久 委員

山口 康弘 委員

五十嵐 桂一 委員

山崎 昌則 委員

☆公明党議員団

神田 聖子 委員

田口 博 委員

☆ちとせの未来を創る会

北山 敬太 委員

松隈 早織 委員

落野 章一 委員

平成27年度一般会計補正予算を審査するため、議長を除いた24人の委員で構成する「補正予算特別委員会」を設置し、6月18日から6月23日まで付託案件に対する質疑を行いました。

審査の結果は、第2回定例会最終日に報告され、すべて原案のとおり可決しました。

ここでは、11人の委員が行った質疑の一部を掲載します。



日本共産党

佐藤 仁 委員

市の減免制度の見直し

**問** 生活困窮世帯支援法に基づく補正予算が提案されているが、この法は、最低生活基準に追いやられないための低所得者への対応である。減免の制度と同じである。

当市の減免実態は、例えば市営住宅では、生活保護基準以下でない減免の対象とならない。

また、国保料での当市独自の減免対象者は、何年もゼロである。水道料では、昔はあったが今はない。

市の減免制度を見直すことを求めるが、いかがか。

**答** 総務部長 減免制度に対する市の全体的な考え方について、それぞれの制度において法律等を踏まえ、制度の趣旨や目的に沿って減免の基準が設けられているので、基本的にそれぞれの制度において整備すべきものと考える。

なお、国の制度変更などに伴い減免措置が必要となる可能性もあり、今後も各種制度の改正状況を的確に捉え、各制度利用

者の状況や他団体の動向も見極め、適切に対応する。



無所属

細見 正美 委員

葬斎場に係る問題

**問** 葬斎場は、火葬炉に収容できるサイズと重量を設定し、「超過は受け入れないので、他市町村の火葬場に搬入してください。」としている。体形による差別であり、料金も全額自己負担となる市民に対し、行政の対象外と宣言している。さらに、施設は供用18年目を迎え、劣化も多くなり生じている。重要な儀式の場にふさわしい対策を求めるが所見を伺う。

**答** 副市長 葬斎場は17年を経過している。規格については、設計において、一定の余裕を持って対応してきたと認識している。

今回のケースは、頻繁に起こることではないと思うが、こうした場合の対応については、これから考えておかなければならないと思っている。炉の規格等から市外に搬送せざるを得ない場合に通常より負担がかかるという、この基本的な部分については整理したい。今後については、他市における対応状況、仕組みをよく調べる。

市長 行政としても多少なりの理論構築と時間がかかることについては理解をいただき、今後については早急に対応してまいりたい。



自民党議員会

島原 長久 委員

北陽小学校区学童クラブ新築整備事業

**問** 年少人口の増加が顕著な北陽・勇舞・みどり台地区における学童クラブの整備は大いに歓迎するが、財政健全化の観点からは、施設の新築が最良の選択肢なのかを伺う。

北陽小学校区の学童クラブの学童数などの現状と、将来予想および建設費の想定額と財源を伺う。

また、ランニングコストを含めて新築を決定したと受け止めるが、その根拠を伺う。

**答** 保健福祉部長 本年4月現在の北陽小学校区の学童クラブ利用児童数は162人で、ランドセル来館の登録児童数は124人である。教育委員会が実施した児童数推計をもとに、平成31年度の学童クラブは177人、ランドセル来館は135人と推計している。

新しい学童クラブの建築費試算では、木造平屋建て床面積86・4坪で7千194万円であり、財源のうち国の補助は約45パーセント相当を見込んでいます。リース方式なども検討したが、改修費用が割高であることや補助金が見込めないことなどから新築することにした。ランニングコストは、いずれもほぼ同額である。



自民党議員会  
山口 康弘  
委員

公園木製橋梁改修事業費

**問** ①公園内にある橋の部分改修費用に1千万円は高いと思う。費用対効果の高い資材を選ぶ努力も必要ではないか。②多額の費用がかかる公園施設を今後も利用するには、設備の一部撤廃や既存設備の改修について、コスト意識を高める努力が必要ではないか。③設備や遊具の改修や撤廃には利用する住民の意見も反映されるべきではないか。④下請け業者に対するケアについて。

**答** 建設部長 ①積算は、労務単価や諸経費など北海道の積算基準などに基づいている。今回の資材単価は、公表単価がないため、3社見積もりの単価方式による平均値を採用した。②不具合が発見された施設は速やかに使用禁止等の措置を取り、簡易な修理で延命を図っているが、毎年、使用禁止になる施設が多くあり、今後も補修や撤去などに取り組む。③公園施設の更新を行う場合は、必ず地元町内会と協議し選定している。引き続き、地域ニーズを反映した公園づくりを進める。④適正な積算による改修が必要と考えており、今後も施設の更新や補修に係る事業費の確保に努める。



自民党議員会  
五十嵐 桂一  
委員

本庁舎耐震改修及び第2庁舎建設事業費

**問** 昨年1月と今年4月の2回にわたり示された第2庁舎建設に関する資料では、耐震工事費で約1億円、第2庁舎建設工事費で約10億円増えているが、その理由を確認する。

また、第2庁舎の面積が1千㎡増えたことについて、市民のプライバシーの保護、喫茶スペースと地下食堂を綺麗にすることしか読み取れないが、これで建設費10億円増額は高いのではないか。

**答** 総務部長 第2庁舎の面積を3,500㎡から4,500㎡に1千㎡拡大したこと、資材単価の高騰、人件費の上昇などを踏まえ、建設単価を㎡当たり40万円から45万円に増額したことが、事業費増の主な理由である。第2庁舎の面積増は、庁内の検討委員会で、レイアウトや面積などの検討を進め、課題の整理や必要な機能についても検討した。

基本構想の素案では、プライバシーに配慮した広い相談窓口の確保、バリアフリーに配慮した廊下、待合スペースの充実のほか、カフェなどの空間の提供や、防災拠点機能の充実を図ることなどを総合的に検討した結果である。



自民党議員会  
山崎 昌則  
委員

観光・スポーツ連携事業

**問** 空手之道世界連盟ワールドカップが9月27日に250カ国5000人以上の選手が参加し、武道館で開催される。関係者・家族を含めると1千人以上の人が国外・市外から訪れる。そこで、市の考えを伺う。

①商業者等と連携して長い時間滞在してくれる努力が必要と考えるがいかがか。②大きな大会等に対する市の支援について。③市を挙げての歓迎ムードの高揚が必要でないか。

**答** 観光スポーツ部次長 ①本年1月に千歳市スポーツ合宿・大会誘致等推進協議会を発足し、まち全体のおもてなしの醸成など、具体的な協議を進めている。②助成金の交付や施設利用料の減免など、スポーツ合宿の実態やニーズを把握するためのスポーツ合宿・大会等誘致推進基本調査を進め、どのような支援策が可能であるか検討する。③まちを挙げてのおもてなしの醸成は、当市の知名度アップやリピータの増加に不可欠と考えている。歓迎用旗や「街なかマップ」の配布など、様々な取り組みを実施しているが、市を挙げて歓迎ムードを高揚するために具体的に検討する。



公明党議員団  
神田 聖子  
委員

新給食センター整備事業費

**問** 来年度の基本構想から5年後平成32年度に供用開始となる給食センター新築移転は、大型プロジェクトになり、財源等も検討課題と考える。センター方式を採用している自治体の政策としてPFIを導入している自治体もある。

先進地視察も予定しているようだが、PFI活用の所見を伺う。

**答** 教育部長 PFI事業は、民間の資金や経営能力・技術力を活用し、公共施設等を効率的・効果的に整備する公共事業の手法である。PFIの導入は、行政が自ら行った場合に係る事業全体の費用と、民間が行った場合に係る費用の比較を行うことが重要になる。新給食センター建設におけるPFIの導入効果を今後よく調査し、整備方法の一つとして検討したい。

先進市視察は給食センターの整備、機能、衛生管理面、食物アレルギー対応方法などを重点的に聞き取り、調査を行った。あわせてPFI事業などの整備手法も視察した。



# 補正予算特別委員会



公明党議員団  
田口 博  
委員

## 防災行政無線デジタル化 整備事業費

**問** 防災行政無線戸別受信機の町内会における配布数について伺う。

農村地域には戸別受信機を各家庭に配布しているとのことだが、駒里地域で、まだ貸与されていない方がいるのはなぜか伺う。

**答** また、防災行政無線戸別受信機について、町内会配布分については、役員等の交代等により配布先が掌握できていないという状況もある。戸別受信機は付属品も含め、高額なものであるため、3年に1回程度、町内会配布の戸別受信機の配布先の確認・音質調査および農村地域における配布先確認のために、住民基本台帳による照合の必要性を提案したいが所見を伺う。

**答** 総務部長 町内会には、現在、329台配布している。

農村地域には、基本的に世帯ごとを基準にして貸与しているが、地域に新しく転入された方は、情報が届いていないことから、貸与していない状況となっている。

住民基本台帳との照合等については、デジタル化の移行にあわせて、必要となる手続きを経た上で、実施に向けて検討していく。



ちとせの未来を創る会  
北山 敬太  
委員

## 第2庁舎建設事業費

**問** 今年度からスタートする第四期重点施策の中で、子育て・教育の充実を掲げている。

子育て推進に積極的に取り組んでいることをPRするため、新庁舎の正面玄関周辺など目立つ位置に子育て支援に関するスタッフを配置し、授乳スペースやキッズコーナーを設け、そこで育児相談を行うなど、一目で「千歳市は子育てに力を入れているまち」とわかるように工夫をしてはいるかがか。

**答** 総務部長 第2庁舎の建設に当たっては、市民が利用しやすい市民にやさしい庁舎、市民がやすらぎ交流できる庁舎など市民の視点に立った庁舎づくりを目指す。

少子高齢化の進展や、人口減少社会の到来など社会情勢の多様化や複雑化に伴い、その時々々の行政ニーズに対応するレイアウトについて検討する。子育て支援に対応したキッズコーナーの配置などについては、今後よく検討していきたい。



ちとせの未来を創る会  
松隈 早織  
委員

## 通学路の安全対策

**問** 平成24年に全国で実施された「通学路緊急合同点検」は、平成24年4月に京都府亀岡市で登校中の児童と引率の保護者が自動車にはねられるという事故をはじめ、登下校中の児童等が死傷する事故が連続して発生したことを受けて実施された。

この合同点検を受けて、今後どのように通学路の安全対策に取り組んでいくのかを伺う。

**答** 市民環境部長 「千歳市安全で住みよいまちづくり推進協議会」に、市、警察、市PTA連合会、市町内会連合会、各道路管理者、市教育委員会等で組織する「通学路交通安全対策専門部会」を設置し、通学路の交通安全の確保に向けた「千歳市通学路交通安全プログラム」を策定することとしている。

専門部会は、平成26年度中に冬季合同点検を実施したほか、通学路の交通安全の確保に向けた取り組み方針について協議している。

今後、平成27年7月に策定予定の本プログラムに基づき、関係機関が連携して定期的な合同点検の実施など、通学路の交通安全の確保に向けて取り組みに努める。



ちとせの未来を創る会  
落野 章一  
委員

## 千歳川河川緑地整備事業費

**問** ①千歳橋から日の出橋までの千歳川沿いの並木の木の種類と本数について。②市民の憩い、観光ということから、並木として、ライラック、銀杏、白樺、桂、桜等の案があると思うが、今後の植え替え、増植についてどのような予定か。③空港から街中へのウエルカムロード、道道支笏湖線、サイクリングロードなど、千歳の並木について、どのようなビジョンがあるか。

**答** 建設部長 ①桜105本、柳40本、その他ミズナラ等の樹木36本、合計181本である。②市民団体等の協力を得て、グリーンベルトを中心に桜の植樹を進めている。今後植栽可能な場所に、桜による補植を行う。③空港から市街地までの沿道に、「北国らしい樹木を植栽することにより雄大な北海道の自然を感じられる景観整備を毎年国に要望している。市街地は、並木道の整備に必要な用地確保が困難であり、市街地を抜けると、その沿道にはカラマツ林を中心とした原生林により、北海道らしい自然環境がすでに形成されているため、現時点では新たな並木整備は難しいと考える。

# 第3回

# 市民の声を聴く会

5月13日に北ガス文化ホールで「第3回市民の声を聴く会」を開催しました。

当日ご来場いただきました53名の皆様には心から感謝申し上げます。

当日の概要及び配布資料は、ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



### 【内容】

- ・議員定数に関する結論と結論に至った経緯について
- ・政務活動費の今後の方向性について

## 議会事務局からのお知らせ

### ★議会の予定

平成27年第3回定例会は、9月17日(木)から開かれる予定です。正式な日程は、議会運営委員会で決まりましたらホームページやポスターでお知らせします。

### ★ホームページのご案内

会議の出欠状況や、議会だよりで掲載している以外の質問などをご覧になることができます。

ぜひアクセスしてみてください。

### ★表紙を募集しています！

「市議会だより」(年4回:2・5・8・12月発行)の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。

千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしております。

### (問い合わせ先)

千歳市議会事務局 総務課 調査係  
TEL 0123-24-0791 (直通)

### ★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。

希望される方は、次のところまでお問い合わせください。



### (問い合わせ先)

千歳市総合福祉センター2階  
点字図書室 TEL 0123-27-3921

## 編集後記

今号より市議会だよりの編集委員長を任されることとなり、大変に恐縮するとともに重責を感じているところであります。この議会だよりは、私たち議員の活動状況、特に議会における質問等について、一部ではありませんが市民の皆様にお伝えすることに、議会の状況を周知することを目的としております。2年間、各委員とともに充実した議会だよりを作成して参る所存でございますので、ご意見・要望等がありましたら、遠慮なくご一報をお待ちしておりますので、よろしく願います。

(委員長 山崎 昌則)

### 議会報編集委員会

委員長	山崎 昌則
副委員長	渡辺 和雄
委員	山口 康弘
	大山 益巳
	松隈 早織
	田口 博

市議会だよりは、再生紙と大豆インキを使用しています。